

令和3年度 千葉市スマートシティの推進に係る市民アンケート

調査報告書（概要版）



(1) 調査の目的

スマートシティの推進により市民生活の質の向上を図り、地域とともに持続可能なまちづくりを進めるにあたり、本市の現状等を把握するために実施した。

(2) 調査実施概要

実施期間：2021年9月3日（金）～10月8日（金）

調査対象：2021年7月末時点の住民基本台帳から無作為に抽出した、市内に在住する満15歳以上の市民3,000人を対象。

調査方法：郵送配布、郵送またはインターネット（WEB）にて回収

調査委託先：株式会社インテグリティサーチ

調査内容：

1. 「スマートシティ」の認識と期待する分野について（2問）
2. インターネット・情報通信機器の利用状況について（4問）
3. ICT（情報通信技術）の普及による、現在の生活への影響について（6問）
4. 千葉市の魅力について（3問）
5. 「パーソナルデータ」の活用について（1問）
6. 働き方について（3問）
7. スマートシティを実現することの必要性について（1問）

(3) 回収数： 866件（郵送回答559件、WEB回答307件）

区別内訳（人）

中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	全体（計）
162	168	139	125	124	148	866

(4) 回収率： 28.9%

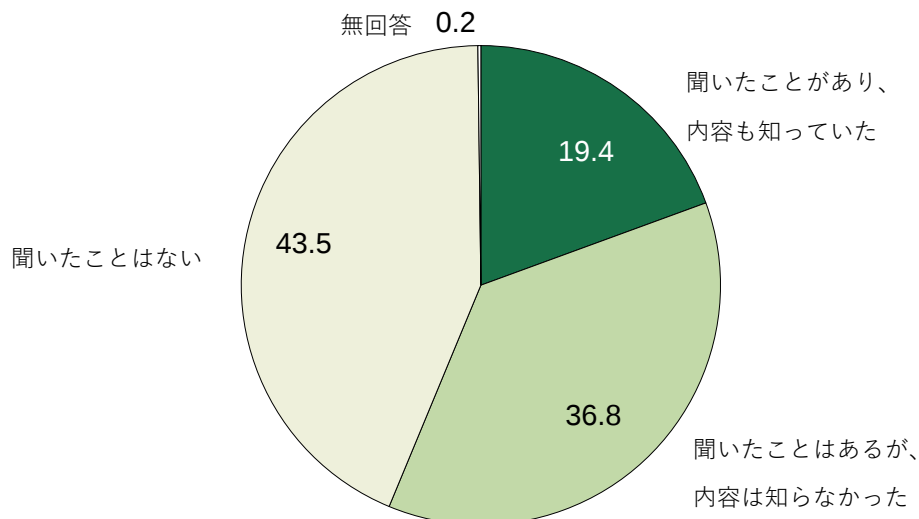
【調査結果の概要】

(1) 「スマートシティ」の認識と期待する分野について

●「スマートシティ」という言葉の認知（問1）

「スマートシティ」という用語を聞いたことがある人は 56.2%。内訳は、内容も知っていた人が 19.4%、聞いたことはあるが内容を知らなかった人が 36.8%となっている。

図 a 「スマートシティ」という言葉の認知 (n=866)



●スマートシティに関して期待する分野（問2）

最も高かったのは「医療・ヘルスケア（オンライン医療・医療データなどの活用）」で 70.6%、次いで「防災・減災（水害・土砂災害などの各種ハザードマップなど）」が 64.3%となっている。

(2) インターネット・情報通信機器の利用状況について

●過去1年間におけるインターネットの利用有無（問3）

89.0%の人が、過去1年間にインターネットを利用したと回答している。

●保有している情報通信機器とその使用頻度（問4）

過去1年間インターネットで利用した人のうち、90.3%の人がスマートフォンをほぼ毎日使用していると回答している。

●利用したインターネットの機能・サービス（問5）

スマートフォン・パソコン・タブレット型端末のいずれかを月に数回以上使用している人が利用しているインターネットの機能・サービスは、情報検索が 84.1%、LINE の利用が 82.9%となっている。

●インターネットを利用しない理由（問6）

直近1年間でインターネットを利用していない、またはスマートフォン・パソコン・タブレット型端末のいずれも年に数回未満の人が、インターネットを利用しない理由は、「どのように使えばよいかわからないから」が 48.5%と最も高く、次いで「自分の生活には必要ないと思っているから」が 41.6%となっている。

(3) ICT（情報通信技術）の普及による、現在の生活への影響について

●ICT（情報通信技術）の普及による、現在の生活への影響についての意識（問7）

ICTの普及によって現在の生活が便利になっていると回答した人は、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計で83.5%となっている。一方、ICTの普及によって新たなリスクが生まれていると回答した人は、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計で59.6%となっている。

●オンライン学習の導入による学習環境への影響（問8）

直近1年間インターネットで利用した人のうち、オンライン学習を利用したことがある人は16.0%。そのうち、オンライン学習の導入によって学習環境が快適になっていると回答した人は、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計で80.2%となっている。

●ICT（情報通信技術）などのテクノロジーを活用した、環境保全に関する取り組み状況（問9）

いずれかの取組をしている人の割合は67.0%。取組の内容は、家電製品を購入する際に省エネルギー効果の高い製品を購入することが57.0%と、最も高い。

●千葉市からの防犯・防災に関する情報の取得方法（問10）

千葉市からの防犯・防災情報を受け取る方法は、携帯電話・スマートフォンのエリアメールや緊急速報メールが52.2%と最も高く、次いで市政だよりが49.3%となっている。

●千葉市からの防犯・防災に関する情報の満足度（問11）

千葉市からの防犯・防災情報の満足度は、56.7%の人が「満足」または「どちらかという満足」と回答し、42.6%の人が「満足していない」または「どちらかという満足していない」と回答した。

●千葉市で実施しているオンラインサービスの認知・利用状況（問12）

千葉市で実施しているオンラインサービスのうち、もっとも認知率が高いのはマイナンバーカードを活用した住民票等のコンビニ交付で69.2%、次いで粗大ごみのインターネット受付が36.1%となっている。利用状況は、千葉市で実施しているオンラインサービスのいずれかを知っている人のうち、もっとも利用者率が高いのは粗大ごみのインターネット受付で21.5%となっている。

(4) 千葉市の魅力について

●千葉市の魅力に関する情報の取得方法（問13）

千葉市の魅力に関する情報を受け取る方法は、市政だよりや千葉市観光協会のガイドブックなどの紙媒体がもっとも高く、65.9%となっている。

●千葉市の魅力に関する千葉市や千葉市以外からの情報発信に対する満足度（問14）

千葉市の魅力に関する情報発信の満足度は、45.5%の人が「満足」または「どちらかという満足」と回答し、53.1%の人が「満足していない」または「どちらかという満足していない」と回答している。

●千葉市の魅力を人に伝えた経験（問15）

千葉市の魅力を人に伝えた経験は、家族以外の知人・友人や近所の方などとの会話が46.1%、家族との会話が40.1%となっている。一方で、千葉市の魅力を人に伝えたことがない人は36.8%となっている。

(5) 「パーソナルデータ」の活用について

●自治体や民間事業者等がパーソナルデータを活用することに対する意識（問 16）

総合的に考えてパーソナルデータを活用すべきと思う人は、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の合計で 75.4%となっている。

(6) 働き方について

※問 17 は職業のみを問う設問のため省略。

●過去 1 年間におけるテレワーク経験（問 18）

現在働いている人のうち、38.8%の人が過去 1 年間にテレワークをしたことがあると回答している。

●テレワークの導入による労働環境への影響（問 19）

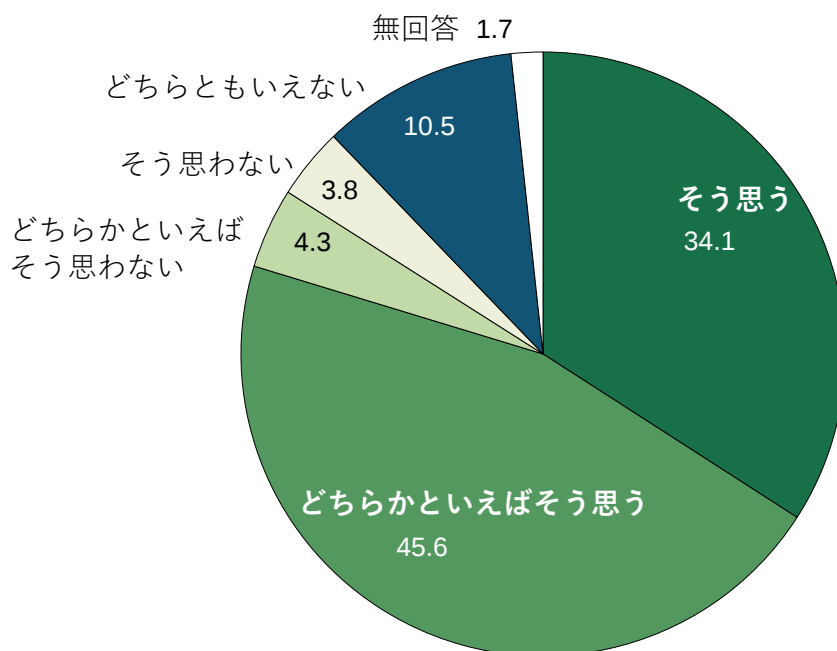
現在働いている人のうち、テレワークの導入などによって労働環境が快適になっていると感じる人は、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の合計で 51.2%となっている。

(7) スマートシティを実現することの必要性について

●スマートシティを実現することの必要性（問 20）

スマートシティの実現を目指す必要があると思う人は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計で 79.7%、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計で 8.1%、「どちらともいえない」が 10.5%となっている。

図 b スマートシティを実現することの必要性 (n=866)



担当課：総合政策局 未来都市戦略部 スマートシティ推進課

千葉市中央区千葉港 1 番 1 号 千葉市役所 5 階

電話：043-245-5362 ファックス：043-245-5551

smartcity.POF@city.chiba.lg.jp